

至誠一貫

未来に向けたまちづくりの伴走者として

元日の震災発生から間もなく1年を迎えます。内灘の復旧・復興を完全に果たすには時間を要すると見込まれ、息の長い取り組みが必要です。

一方で町政の停滞は許されません。住みよいまちづくり、魅力づくりを切れ目なく継続しなければ、いま、町で最も危惧されている人口減少が加速するおそれがあります。

私は元内灘町職員です。行政の場で

住民サービスの向上や町が直面する課題の解決に長く取り組んできました。その経験を町議会でフルに活かし、ふるさとの発展と震災からの復旧・復興に貢献していきたいと考えております。

「至誠一貫」という言葉が私は好きです。この言葉が意味する誠実さをモットーに、未来に向けたまちづくりの伴走者として走り出す決意です。皆様のご指導、お力添えをお願い申し上げます。



ふくしま 誠一 せいいち

ふくしま誠一プロフィール

- ・1963(昭和38)年生まれ
- ・学歴:大根布南小学校・内灘中学校・星稜高校・金沢経済大学卒。内灘町役場在職中に金沢大学大学院人間社会環境研究科博士前期課程修了(修士:公共政策)
- ・1986(昭和61)年、内灘町役場に奉職。環境政策課長補佐、地域振興課長補佐、生涯学習課長補佐、住民課長、会計管理者兼会計課長などを務める
- ・2024(令和6)年に退職し、同年10月に時短再任用を終了、これを機に町議会での地域貢献を目指す
- ・趣味はランニング、スイミング
- ・町内会・公民館の活動やボランティア、献血にも熱心に取り組む(献血200回達成)

現在の活動

保護司、防災士、内灘町水泳協会理事、日本水泳連盟公認競技役員 & 審判員、千島台町会役員、内灘町防犯と交通安全推進隊(千島台地区)、石川県地球温暖化防止活動推進員、石川県地域づくり協会運営委員、石川県登録災害ボランティア、ラジオ体操認定指導員、みんなの体操幹部指導者、日本自動車連盟公認モーターヌボーツB級審判員。
ほか、「日本公共政策学会」においてまち内灘「NPO法人未来創造うちなだ」に所属

ふくしま誠一後援会事務所

〒920-0274

内灘町向栗崎5丁目29番地

TEL.080-3746-0050

FAX.076-250-5455

E-mail: fukushima.chidori@gmail.com

笑顔あふれるまちづくり

ふくしま 誠一

せいいち

ふくしま誠一が町議会で目指す政策

■防災減災

- ・住民合意に基づく早期の復旧・復興
- ・聞こえづらい防災行政無線の抜本的改善
- ・公民館の災害備蓄品を拡充
- ・災害時に炊き出し拠点となる多機能な給食センターの整備
- ・避難所となる公共施設に非常用電源と空調設備を設置
- ・炊き出しに対応でき、備蓄庫も備えた多機能な防災公園の整備

■教育支援

- ・いじめをなくす人権教育の推進
- ・英語圏の国との友好交流で生きた英語を学習する機会を拡大
- ・高校生の通学補助を半額相当まで拡充
- ・学校給食の完全無償化
- ・全学校の特別教室を開放し、多様な学びの場を提供
- ・地域住民との交流・連携で県立内灘高校の魅力UP



■健康づくり

- ・ジュニアから高齢世代までの文化芸能・スポーツ活動を支援
- ・eスポーツで身体と頭脳を活性化
- ・一町会一公民館をフル活用し、生涯学習活動を活性化
- ・自転車の利活用と歩道の段差解消

■町の魅力UP

- ・内灘海岸のにぎわいづくり（砂像、傘アート等）
- ・空き店舗の活用（作品展示ギャラリー等）
- ・防災・観光・公共施設利用などで近隣市町と広域連携を拡大
- ・女性・若者・障害のある方が輝く社会づくり

■行政運営

- ・さまざまな活動を支援する協働まちづくり部署の設置
- ・クラウドファンディングの活用
- ・ふるさと納税の品目拡大
- ・町会リサイクルの改善・見直し
- ・徹底した情報公開で行財政を見える化
- ・町職員の労働環境改善で住民サービス向上